

事例を読んで、現在の課題・今後の支援の目標、・今後の対応を考えてみましょう。

できるだけ、具体的で（方針ではなく具体的な行動）、実際に行うことができる方法を自分なりに考えて書き出してみてください。

## (1) Aさんの概要

Aさん（86歳女性）は、一戸建てに独居で暮らしている。夫は40歳台で病気のため死亡し、以降、長女と次女、長男の3人を一人で育ててきた。地元の中小企業で事務を担当し、定年(60歳)まで勤務した。定年後まもなく末子が家を出て、現在まで一人でY市に暮らしている。（家族の話から）

3カ月前、Aさんの近所のコンビニの店長が、季節に合わない服装をしていたAさんに気づいて市役所に連絡し、包括職員がAさん宅を訪問した。しかしAさんは機嫌が悪く、「何にも困っていない」と玄関先で追い返されてしまった。その後、何度か包括職員が訪問する中で、偶然会ったAさんの長女から、Aさんがものを集めて家の中が散らかっていることは分かった。しかし、長女もAさんとのかわりには拒否的で、一度話を聞かせてほしい、と包括職員から頼んでもあまり乗り気ではない。長女は、Aさんの施設入所を考えている状況である。

## (2) 在宅生活が困難になってきたときの状況

### ① 問題・課題が生じてきた経緯

3カ月前、Aさんの近所のコンビニの店長が、身なりも真冬に半そで、連日同じもの（歯ブラシなど）を買いに来るAさんに気づき、不審に思って市役所に電話をしてきた。市役所から担当地域の地域包括支援センターに連絡し、包括職員がAさん宅を訪問したが、玄関に出てきても部屋の中には入れてくれず、話しているうちに怒り出して、帰宅せざるを得なかった。

近所の人のお話では、地元で長く暮らし、若いころにご主人を亡くして以降、働きながら3人の子供を育てた働き者だということだった。Aさんはフルタイムの仕事をしていたので、近所の人ともそれほど交流はなかったようで、最近の暮らしぶりについてはよくわからなかったが、2件となりの家の住人は、「最近、生ごみを別の曜日に出すので、困っていて本人にも言ったが怒って取り合ってくれず、正直迷惑だと思った」とのことだった。

### ② 地域や担当事業所等がとった対応

Aさんと関係をつくることを目的に、地域包括支援センターの職員が何度か訪問したが、これまで同様Aさんと話をすることはほとんどできなかった。

3週間ほどたって、偶然にも長女がAさん宅を訪れているところに、包括職員が出くわし、長女と話をする事ができた。長女の話では、もともと家に物が多く、旅行先で購入したお土産などが飾ってあったが、5年くらい前から、探し物が多くなったことに長女が気づいて、認知症を疑い病院を受診を勧めた。しかし、Aさんは「病院は嫌い。どこも悪いところはない。」と受診しなかった。その後、Aさんは出先のデパートでハンカチや傘などの日用品を購入しては、部屋にため込むようになり、部屋が物で一層散乱するようになった。長女はここ2年以上、Aさんを訪問して居室には上がらず、「もう母親は好きにしたらいい。ただ痩せてきているので、病気があるのではないかと心配。施設を紹介してほしい。」と訴えたため、包括職員は、他の兄弟（次女と長男）の連絡先を聴いて連絡をとってみることにした。

③ 対応の結果

さらに2週間ほどして、Aさんの近所から包括の職員に苦情の電話が入った。生ごみを近所の人の庭先に置いて行ってしまい、注意したところ激高して部屋に戻り、それ以降、夜中でもかまわず隣の家のインターホンを鳴らしたり、庭に入ってきて、用を足したりして困っているとのことだった。

包括職員は次女や長男にも連絡をとって、一度今後のことについて相談したいと話した。

隣の県に住む長男は、今年の正月にAさん宅に行き、散乱した部屋の様子を激怒してAさんと大喧嘩になった。それ以来、長男はAさんの家には来ていない。心配した長男の妻が、長男にAさんのことをほっておいてもいいのかと相談しても、「大人なんだから、放っておけばいい」と無関心な様子であった。Aさんも多忙で、とても話し合いに来てもらえる感じではなかった。

次女は、結婚して遠方に住んでいるためなかなかAさんのところには来れないが、Aさんに電話を頻繁にかけてきて心配していた。長男や長女は、自分（次女）と比べると近くに住んでいるのに、ほとんどAさんを訪問していないことに、次女は不満を持っているようだが、「自分は何もしていないのでとやかく言える立場にない」という。

包括職員は再度、長女に事情を話し、要介護認定を受けてはどうかと助言したところ、長女はしぶしぶ要介護認定の申請を行った。また長女がAさんを、以前、癌の手術をしてくれた病院に連れて行くことができ、要介護2の認定がおりた。包括職員はAさんに居宅介護事業所リストを渡して、Aさんはもっとも近かったB居宅介護事業所にケアマネジャーをお願いすることにした。しかし、ここまで包括の職員がなんとかAさんをなだめながら認定につなげた状況であり、現在も長女はAさんにできるだけ会わないようにしており、家には入らない。

(3) 現在のAさんの状況

年齢・性別		86歳 <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女				
要介護度		要介護2				
自立度 日常生活	障害老人 自立度	<input checked="" type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> J1	<input type="checkbox"/> J2	※詳細は不明	
	認知症老人 自立度	<input type="checkbox"/> A1	<input type="checkbox"/> A2	<input type="checkbox"/> B1	<input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2	
		<input type="checkbox"/> I	<input type="checkbox"/> II a	<input checked="" type="checkbox"/> II b	<input type="checkbox"/> III a <input type="checkbox"/> III b <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M	
A D L	① 食事	<input type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助	② 着脱	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	③ 排泄	<input type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助	④ 入浴	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	⑤ 移動	<input type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助	⑥ 整容	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助
疾病	<b>【認知症】</b> アルツハイマー型認知症 <b>【現病】</b> 高血圧・座骨神経痛 <b>【既往歴】</b> 5年半前に、胃がんのため摘出手術。					
生活の様子	戸建て（持家）に独居。ADLは不明だが、食事も含め一人で生活を続けている。 ゴミ出しや買い物などは1～2カ月くらいまでは行なっていたが、近所の人ともめるようになってからは、昼間はあまり見かけなくなった。どうしているかわからない。 もともと買い物が好きで家に物が多く、家の中は散乱しているようす（家族から）40歳台で夫を亡くして以来、長男、長女、次女を、近所の中小企業の事務職員をしながら一人で育てた。 長女は「年金で入れる施設を探してほしい」と言っている。					
支援	なし					